

地域密着型金融の取組事例について

タイトル 子ども向け金銭教育セミナーの実施

JA名 JAバンク和歌山(和歌山県)

1 動機 (経緯)	将来の取引先の中心となる世代が、JAを金融機関の選択肢として認識し、利用するきっかけとなること、および地域住民に対し、JAが社会的役割を果たす地域金融機関であることを印象づけることを目的とし実施しました。
2 概要	JA協調型事業にかかる取組みとして、子ども向け金銭教育セミナーを実施しました。参加対象者はJA管内の小中学生とその保護者とし、外部講師(FP和歌山 土井氏)を招き以下のカリキュラムで行いました。 1. 世界のお金 2. 「欲しいもの」と「必要なもの」 3. ホームステイゲーム
3 成果 (効果)	カリキュラムは、JA職員と参加者との「ふれあい」という部分も重視されており、地域住民(特に小さな子どもを持つ若い世代)との親睦を深めることができました。
4 今後の 予定(課題)	24年度も継続して実施します。23年度は実施回数が2回だったため、それ以上の開催を目指します。

(開催時の様子)

外国のお札にふれる



講師の土井先生(アラビア装束)



職員とのふれあい



お金について学ぶ